

ほろわんぱーく 利用の手引き

夢のアトリエ

少年自然の家は、主に自然体験活動や宿泊体験を通して、利用者の生涯学習をサポートする社会教育施設です。自然の家が主催して行う事業には家族やグループなどで参加することもできます。

「光と風と緑」の中でのびのびと活動できるほろわんぱーくをぜひご活用ください。



マスコット
キャラクター
ほろっとちゃん

令和7年版

～ 目 次 ～

お申込みからご利用まで	… 1	テント泊について	… 9
基本のルール・マナー	… 2	食数の変更とキャンセル	… 9
安全・保健・バリアフリー	… 3	食物アレルギーへの対応	… 9
施設平面図(※避難経路含む)	… 4	食堂の利用について	… 10
団体でご準備ください	… 5	野外炊飯について	… 11
自然の家で借用できる物品	… 6	施設の利用にかかる料金	… 12
清掃・片付け	… 7	活動プログラム一覧	… 14
ごみの始末	… 7	利用申込書様式(両面)	… 16
経費と支払い方法	… 7	(表面16-1 裏面16-2)	
バスの利用方法	… 7	利用申請書様式	… 17
宿泊室の使い方	… 8	使用料減免申請書	… 18

■ご利用についてのお問い合わせは…

秋田県立保呂羽山少年自然の家(愛称: ほろわんぱーく)

〒013-0561 秋田県横手市大森町八沢木字大木屋73

電話 0182(26)6011 FAX 0182(26)6012

ホームページアドレス

<https://www.pref.akita.lg.jp/horowa-sizen/>

電子メールアドレス

horowanpark@pref.akita.lg.jp



こちらから
アクセス可能です。

お申込みからご利用まで

1 申込み～受付完了

- ① 利用が可能か電話でお問い合わせの上、仮予約をお願いします。原則として、利用希望日の1ヶ月前までがめやすです。
- ② **「利用申込書」**をお送りください。正式に利用が受け付けられます。郵送かFAXまたは電子メールをお願いします。(p16)
※学校や社会教育団体等で、前年度のうちに利用期日が決定している場合、仮予約は不要です。

2 事前の打合せ（電話・メール・事前打合せ）

- ① 自然の家スタッフと電話やメール等を利用して活動内容や日程などについて打合せを行い、「活動計画書(仮案) A・B」を作成していただきます。利用日の1ヶ月前頃までに、仮案をお送りください。
★活動のねらい、プログラムと時間配分等を考慮して計画を立てていただきます。
時間的にゆとりのある計画をおすすめします。
- ② 希望する団体には、期日を決めて事前打合せを実施いたします。

3 「活動計画書(正案) A・B」の送付

- ① 利用日の2週間前までに、郵送かFAXまたは電子メールをお願いします。
- ② 必要に応じて、「食物アレルギー連絡票」「あきたアドベンチャープログラム(AAP)活動計画書」「カヌー時程表」も併せてご提出ください。

4 人数の変更があった時や利用を中止したい時

- ① できるだけ速やかにお電話でご連絡ください。
- ② 弁当、食材や飲み物等の申込みをしている場合、キャンセル料が発生する場合があります。(p9)
- ③ 宿泊の際のシーツ代、創作活動の材料費等はキャンセル料が発生しません。

5 「利用申請書」の送付 (p17)

- ① 利用する人数が確定しましたら、郵送かFAXまたは電子メールをお願いします。
- ② 18歳以上の方の施設使用料については(p12)をご確認ください。
- ③ 使用料免除(全額・半額)に該当する場合は、「**使用料減免申請書**」(p18)を利用申請書と併せて入所3日前(休日を除く)までご提出ください。

6 ご利用

- ① 到着後、活動に入る前に主担当の方は、少年自然の家スタッフと打合せ(受付)をしていただきます。こちらからは、精算書等をお渡しします。
- ② 退所日の朝、精算書に必要事項を記入し事務室へご提出ください。

7 お支払い

- ◎ 施設使用料および活動諸経費は、現金による支払いは取り扱っておりません。退所時に(もしくは後日郵送にて)、支払いのための諸用紙をお渡ししますので、期限まで金融機関でお振り込みください。(p7)

★「利用申込書※」「活動計画書A・B」「利用申請書※」「使用料減免申請書※」「食物アレルギー連絡票」の諸用紙は、当所ホームページよりダウンロードができます。
(※の様式は巻末に掲載してあります。)

基本のルール・マナー

1 「公共の研修施設」であることをご指導ください

少年自然の家は「公共の研修施設」です。民間宿泊施設とは違い、青少年の健全育成を目指す施設であるため、自主・自立の精神を養う様々な行動が求められますので、ご理解の上ご利用ください。

2 すべての活動に「大人の目」を

自然の家での活動は、団体の指導者が利用のねらいに沿って施設・設備や活動プログラムを活用し、子どもたちに様々な体験を通した学びの場を提供し、当所のスタッフがその実現を支援することで成り立ちます。

事故・けがの防止や発生時の対応はもちろん、施設・設備の利用、感染症の感染防止対策、活動時における他団体への配慮等も含め、団体の全ての活動に「大人の目配りと必要な指導」を確実にお願いします。

3 公共のルールをご指導ください

① みんなが眠る・休む時間を守りましょう

就寝・消灯… 22:00 起床… 6:00

※ 22:00～6:00の間は、互いに静かな時間になるよう努めましょう。

② 使った場所や物は元通りに

次に使う人が笑顔で利用できるように心がけましょう。

使用した場所の掃除をお願いします。

※『清掃・片付け』(p7)をご覧ください。

※『宿泊室の使い方』(p8)をご覧ください。

③ ごみは持ち帰りが原則です

※『ごみの始末』(p7)をご覧ください。

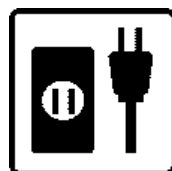
④ 入浴は22:00までにすませましょう

※入浴開始時刻はスタッフにご相談ください。

⑤ 節水・節電に努めましょう

※こまめに蛇口を閉めて節水を心がけることをご指導ください。特に、野外炊飯時やシャワー使用時はご配慮ください。

※ unnecessary 電灯は消灯するようにして、節電もよろしくお願いします。



☆その他

○入所時（出会いの集い等）に、スタッフ紹介の時間を設定していただけるようお願いします。

○「しおり」を作成されている場合は、1部ご提供ください。

○各活動前には、引率者（代表）と担当スタッフとの打合せの時間が必要です。

安全・保健・バリアフリー

1 災害発生時に備えて

- ① 館内の非常口をご確認ください。
- ② 災害発生時は、スタッフの指示に従って速やかに避難をお願いします。



2 危険予防のために

- ① 活動には、必ず大人が付き添って目配りをしてくださるようお願いします。
- ② 野外活動エリアでは、標識や案内板にしたがってコースをたどります。案内板に手を触れることのないようにご指導ください。
- ③ 各活動の説明事項をよく確認し、「アクティビティーカード」を参考に安全を確保し、事故のないようにご留意ください。「アクティビティーカード」は当所ホームページ上でご覧いただけます。
 - ・ハチや毒ヘビ、有害な草木等への注意
 - ・カヌーのライフジャケット着用
 - ・刃物の使用、火や熱湯による火傷への注意
 - ・その他「アクティビティーカード」に記載してある事項
- ④ 野生動物（クマ等）対策について
野外コースを利用する活動では、事前にスタッフが爆竹等を鳴らしてコースを巡回する等の対応をしています。（活動によってはスタッフが同行します。）

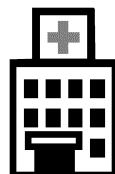


3 保健

- ① 利用予定者に対する事前の健康観察を徹底するようお願いします。施設利用中は健康管理をお願いします。
- ② 保健室があります。利用される場合は、スタッフにお知らせください。
- ③ 投薬・けが等の処置は行っておりません。救急箱を各自で準備の上で対処をお願いします。医師の診察が必要と思われる場合は、病院へお連れください。
- ④ 持参した薬剤の冷蔵保管が必要な場合には、食堂前ロビー「おやさし座ホール」にある冷蔵庫をご利用ください。※薬剤への記名をお願いします。
- ⑤ 子どもたちのアレルギーが年々増えてきています。食物、寝具、その他のアレルギーで、特に配慮を要する場合には、事前にご相談ください。

●最も近い総合病院です。受診前に自然の家から連絡をとります。

横手市立大森病院 電話 0 1 8 2 - 2 6 - 2 1 4 1

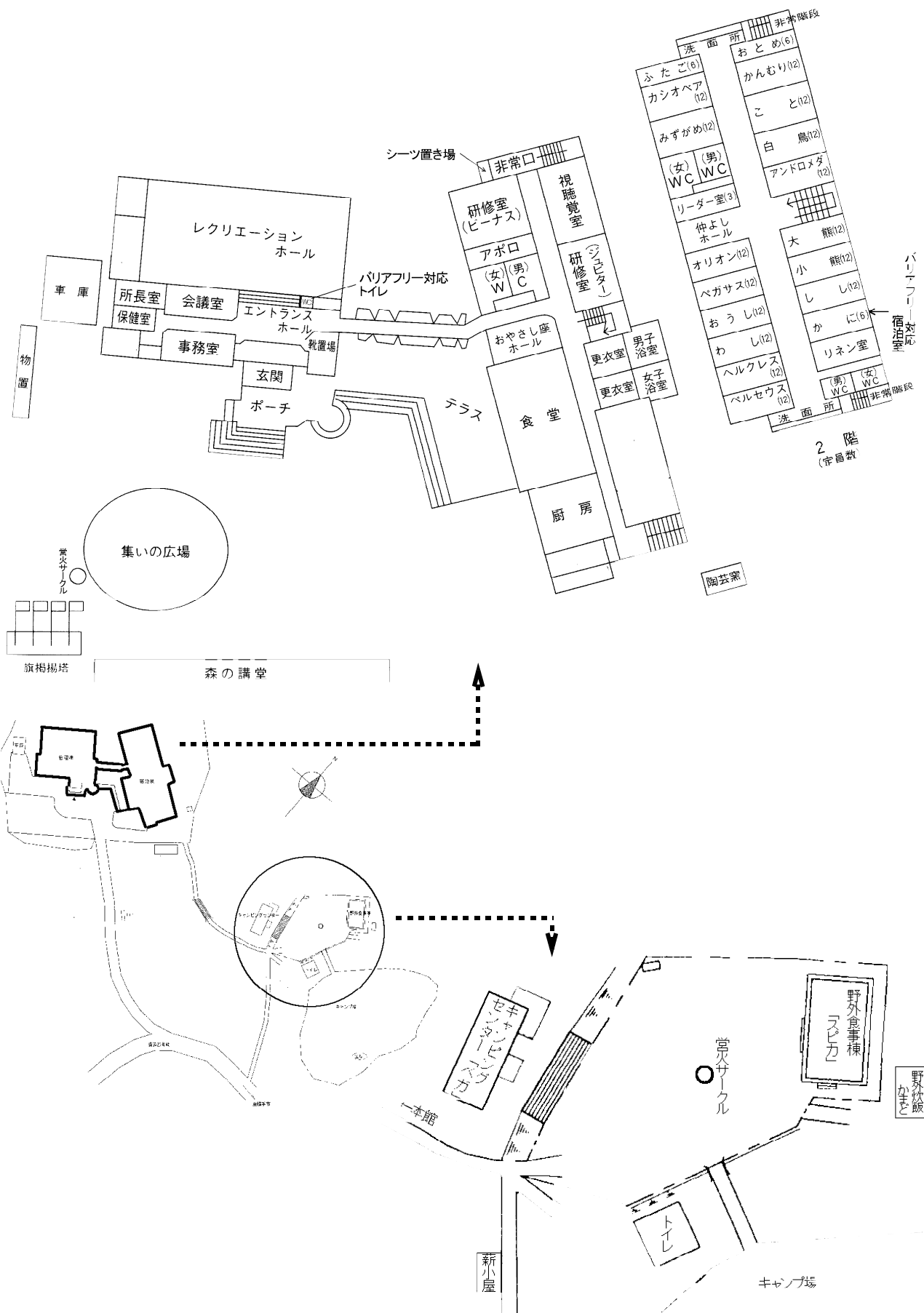


4 バリアフリー

- ① 専用駐車スペースがあります。
- ② 施設各所に車いす用のスロープが設置されています。
- ③ 玄関ホールからレクレーションホールへ昇降リフトで移動できます。
- ④ 1階から2階宿泊室へ階段昇降機で移動できます。
- ⑤ 1階にバリアフリーに対応したトイレがあります。
- ⑥ 2階にバリアフリーに対応した宿泊室「9号室＝かに座」（1室）があり、室内には洋式トイレが設置されています。
- ⑦ 車椅子をお貸しできます。
※昇降リフト、階段昇降機、車椅子をご利用の際は、スタッフにお知らせください。



施設平面図



団体でご準備ください①

◆野外活動を含めた活動全般に必要な◆

【個人ごとに】

- 内ズック ○着替え（長袖のシャツや長ズボン等の野外活動に適した服装は必須）
- 洗面と入浴用具 ※洗面所・浴室・手洗い場には石けんのみ備え付けてあります。
- マスク（複数枚） ○うがい用コップ ○ハンカチ、ティッシュ ○タオル
- 個人用ゴミ袋 ○軍手 ○帽子 ○雨具（カッパ） ○長靴 ○虫除けや常備薬 等
- ⑩多少の雨でも、野外炊飯等も含めて予定した野外活動が実施できるよう支援に努めます。荷物が増えることとなりますが、長靴・雨具（カッパ）及び着替え等（多めに）持参されるようおすすめます。利用当日は晴天でも、野外活動コースはぬかるんでいることもあります。

【団体で】

- 利用の手引き「夢のアトリエ」 ○救急セット ○体温計 ○消毒用アルコール等
- ゴミ袋 ○ハンドソープ ○消毒作業用手袋 ○消毒用ふきん（ペーパータオル等）
- 講師謝金（天体観察で講師を依頼する場合は現金をご準備ください）

◇消毒関係の物品は、各団体の判断でお持ちください。

◇公衆電話は設置しておりません。緊急時には事務室の電話をご利用ください。

◇携帯電話は、ソフトバンクとauが所内と近接する野外活動エリアで通話可能です。また、ドコモは事務室及び玄関付近、宿泊棟階段2階付近のエリアのみで通話可能です。

⑩事前指導で持ち物の記名をお願いします。お忘れ物についての保管期間は1か月です。また、後日お忘れ物に気付かれた方で、直接の来所が難しい場合はご相談ください。

《野外炊飯》に必要な

たきつけ（新聞紙等）とマッチ

☆マッチは自然の家でも購入できます。

ふきん・ペーパータオル

→台ふき、道具ふきをグループや個人で。

☆活動後は、ベガ・スピカ・トイレの掃除・片付けにも使用します。

洗剤（環境配慮洗剤）

☆自然の家でも購入できます。

ぼろ布や紙類（新聞紙等）

→鍋などの大まかな汚れを拭き取るため。

手袋類（火傷防止のため必須）

→軍手……個人で（滑り止め加工がないもの）

→革手……団体で（飯ごう等を持つ時に使用）

☆貸し出し用の革手も準備しています。

個人用の食器（使い捨て等）、マスク、手袋

☆必須ではありません。後片付けの時間短縮として、また感染防止対策として、必要と判断した場合はご持参ください。

《夜の活動》に必要な

▶ナイトハイクで

ろうそく・マッチ・ライター

→貸出の提灯（灯籠）を使う場合に必要。

☆自然の家でろうそく・マッチを購入することもできます。

習字用半紙

→貸出の提灯（灯籠）を使う場合に必要。

⑩提灯の側面に貼る紙です。習字用半紙を半分に切ったもの4枚が必要です。

▶テント泊で

懐中電灯

→テント内の照明として。

▶キャンプファイヤーで

トーチ棒に使う古タオル等

※綿素材をおすすめします。（化繊素材は危険）

☆トーチ棒と巻き付け用の針金は自然の家で購入することができます。

団体でご準備ください②

《カヌー活動》に必要

⑥必ず濡れる活動です！

【個人ごと】

水着とTシャツ等 タオル

→ライフジャケットは、シャツを着た上に着用します。(直接肌に触れないように)

着替え(状況に応じて)

→当日の天候により、濡れたままでは帰路が寒い場合があります。

カップやウィンドブレーカー

→寒い時期や雨の日には着用をおすすめします。

履き物はズック(晴天時)か長靴(雨天時)

→カヌー場への徒歩移動はサンダル不可。

飲み物(暑い時期は必須)

→熱中症予防のためご持参ください。

眼鏡の固定バンド

→転覆時の紛失防止用です。

ビーチサンダル・マリンシューズ

→乗艇時は裸足になっていただきますが、マリンシューズは履いたままでも可です。

【団体で】

→熱中症予防や鳥獣対策等のため、カヌー場への移動はバスの利用を推奨しております。バスの手配をお願いいたします。都合がつかない場合はご相談ください。

《手打ちうどん》に必要

【個人ごと】

エプロン 三角巾(またはバンダナ等)

マスク

【団体で】

ふきん・ペーパータオル

→洗い物(用具・調理器具等)の拭き取りに使用します。

→手洗い後の衛生管理に。

薄手のゴム手袋(全員分)

→衛生管理として、感染防止対策として

個人用の食器(使い捨て等) → 井・箸

《陶芸》に必要

【個人ごと】

汚れてもよい服装

→粘土で汚れる場合があります。

ふきん(汚してもいいもの)

→粘土の保湿、用具についた粘土をぬぐう、使い終わった用具を洗った後で水気を拭き取る、など。

薄手のゴム手袋

→手に傷や炎症等がある方への対策として

自然の家で借用できる物品

○野外活動コースのマップ

○CDラジカセ

○ラジオ体操のCD

— 【キャンプファイヤー関連】 —

○セレモニーで使う衣装

○キャンプファイヤーで使用する曲のCD

○ワイヤレスマイクとアンプ・スピーカー

○延長コード(電エドラム)

○調理に必要な用具等一式

○テント・シュラフ一式

○創作活動等に必要な用具等

○その他の体験活動に必要な用具等一式

○ハサミやのり

○カラーペン

○モニター・DVDプレーヤー

プロジェクター・移動スクリーン

○ドライヤー(5台)

※物品の借用については、スタッフへお問い合わせください。(正案に記載)

※利用団体が重なった場合等、状況によってお貸しできない場合もあります。

※コピー・印刷関連のサービスは提供していません。

清掃・片付け

使用した場所をお願いします

◆宿泊室の清掃

『宿泊室の使い方』(p8)をご覧ください。

◆活動で使用了場所(館内)

→必ず清掃をお願いします。



◆活動で使用了場所(屋外)

→必ず清掃をお願いします。

○キャンプ場・野外炊飯場

キャンピングセンター「ベガ」は、使用後に流しの清掃をお願いします。排水口にたまった生ゴミ等の始末もお忘れなく。

○野外食事場「スピカ」

テーブル、丸太いすを布巾で拭く、整とんする等、ご協力ください。

○かまど・営火場

消火を確認し、燃えかすは所定の場所に捨てるようお願いします。

ごみの始末

ごみの始末について

◆野外炊飯で、当所で購入されたものから出るごみについて、「生ごみ用」と「燃やせるごみ用」の袋を最低各1枚ずつ、提供します。

→ごみは当所の処理の仕方に合わせて分別しています。利用団体で後始末をする際の扱いは、標示に従ってそれぞれのごみ置き場にお出してください。

◆自然の家から購入されたもの以外は、お持ち帰りをお願いします。

→ごみは団体の所在自治体指定の袋等に入れて、お持ち帰りください。



※野外炊飯で使用了した使
い捨て食器類は、当所
で処分します。

経費と支払い方法

◎経費(支払い)が発生するのは…

- ◆創作活動の材料費
- ◆食費(弁当や食材注文がある場合)
- ◆シーツ洗濯代(館内泊・テント泊とも)
※シュラフやベッドパッド等のクリーニング代が発生する場合があります。

◎お支払いは金融機関での振込のみです

②ただし、講師謝金は受講直後その場で団体指導者から直接講師へお渡しください。

- ◆ご利用最終日に、精算書を確認し請求書をお渡します。後日「郵便振替」か「銀行振込」でお支払い下さい。

※休日のご利用の際は、請求書を後日郵送でお届けします。

- ◆振込手数料はご負担いただきます。
- ◆個別の請求書の発行については可能な限りご相談に応じます。



バスの利用方法

◎マイクロバス「ほろっと号」

送迎には利用できません。

◆運行可能な利用目的は…

入所後の「史跡巡り」、「他の教育機関」等への移動をサポートします。

- ◆28席(補助席含む)で荷室はありません。

◆利用の申請方法

①まずは電話等で、バス利用についてお問い合わせください。利用目的や日時について、確認させていただきます。

②「①」で利用できることになった場合、申請書を提出していただき、利用が確定します。(申請書は、当所ホームページよりダウンロードができます)

③直前のお問い合わせでは、対応できません。

◎カヌー活動時の利用について

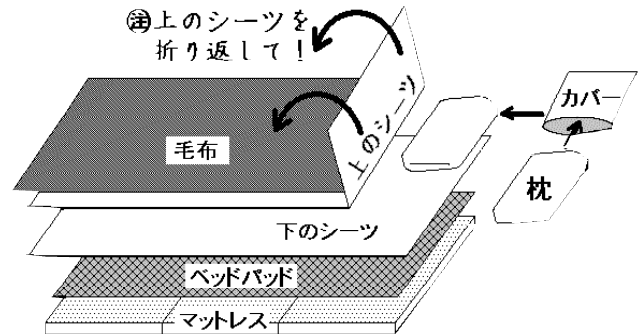
- ◆団体でバスの手配がつかない場合、ほろっと号を利用することも可能です。打合せの際に、担当者にご相談ください。



宿泊室の使い方

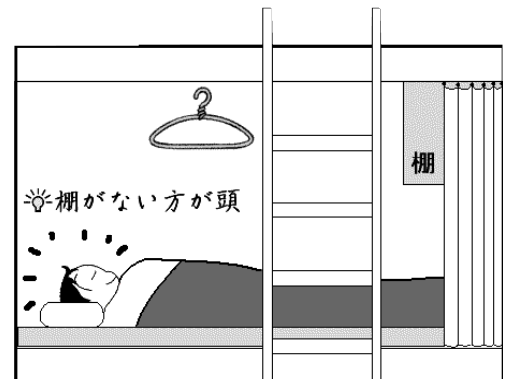
1 ベッドメイク

- ① 割り当てられた宿泊室のベッドで、ベッドメイクをしてお休みください。2枚のシーツの間に寝ます。
- ② シーツ2枚と枕カバー1枚が1人分です。2階ホールに準備しています。
- ③ 割り当てられたベッド以外には入らないようご指導ください。他のベッドが乱雑にならないようご協力ください。



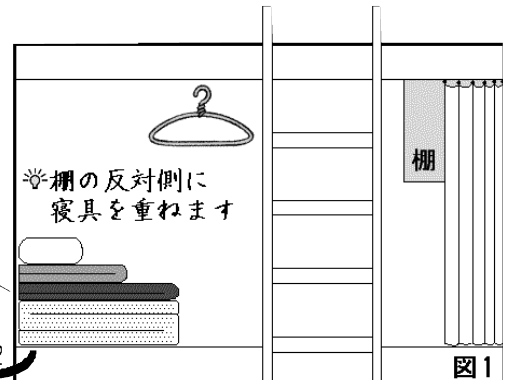
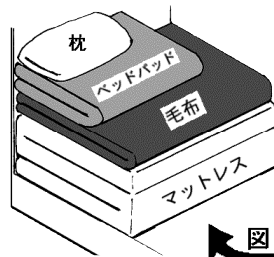
2 宿泊室では

- ① 棚がありますが、大きい荷物は床に置きます。
- ② ベッドごとに1つハンガーが備え付けてあります。
- ③ カーテンで最低限のプライバシーに対応できます。
※座卓(長机)の貸し出しが可能です。
- ④ ベッド内での飲食はご遠慮ください。

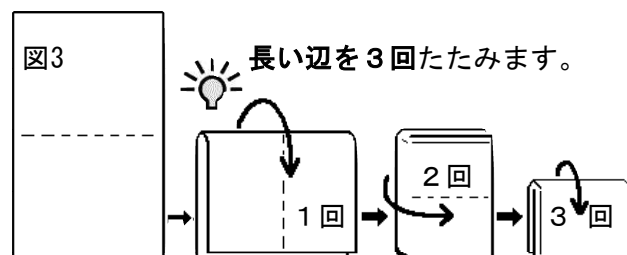


3 ベッドの片づけと部屋の掃除

- ① ごみを拾い、ほうき・ちりとりを使用して掃除します。
- ② 図を参考に寝具をたたみ、重ねます(宿泊室にも掲示しています)。図1~3
- ③ 使用済シーツと枕カバーは、各自で簡単にたたみ、一人ずつ、シーツ置き場に運びます。(シーツ置き場は館内図をご覧ください。)
- ④ ごみは、持参したビニール袋に入れて、持ち帰ります。
- ⑤ カーテンはベッドの外にたらしめます。
- ⑥ 忘れ物がないかを確認します。



☆毛布もベッドパッドも同じたたみ方です。



引率の方へお願いします

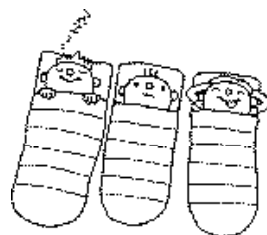
- ★ 活動計画に、ベッドメイク説明の時間(15分程度)とスタッフによる部屋点検の時間(最終日の午前8時45分以降)を設定するようお願いします。
- ★ 部屋からの退出手順は以下の通りです。
ベッドの片付けと部屋の掃除(廊下に荷物を出す) → 引率者による点検・手直し
→ スタッフによる最終確認 → 退出
- ★ 退出後の再入室はご遠慮ください。(スタッフによる清掃作業等を行います。)

テント泊について

テント泊は一人用テント（70張）を使用して実施します。

（テント1張につき、1名～2名利用できます）

- ◆テント泊の場合は、設営（2時間程度）と撤収（1時間程度）をしていただきます。
 - ※テント設営と撤収はスタッフの説明を受けてから実施していただきます。なお、撤収は活動開始時刻9：00以降に時間を設定するようお願いいたします。
 - ※雨が予想される場合のテント泊については、ご相談させていただく場合があります。（館内テント泊が可能な場合があります。）
 - ※雨でテントが濡れた場合の撤収は、スタッフにご相談ください。
- ◆テントデッキについて
今年度は、一人用テント使用のため、テントデッキは設置しません。設置場所については、スタッフにご相談ください。
- ◆シュラフについて
貸出用シュラフがあります。利用される場合は、当所のシュラフ用シーツをご使用ください。使用後のシュラフは、指導者の方が確認の上、所定の場所へご返却ください。
また、使用済みシーツは所定の場所へご返却ください。
- ◆その他
 - テント内には宿泊に必要な物品のみをナップザック等で持ち込むことをおすすめします。
 - 懐中電灯、長袖の上着、洗面具（キャンプ場で洗面する場合）など
 - 屋外トイレを使用する場合、トイレの内部に虫等が入らないように、必ず戸を閉めるようご指導ください。また、翌朝はトイレの消灯をお願いします。



食数の変更とキャンセル

- ◆食数は「活動計画書A(正案)」に記入して、入所の2週間前までにお届けください。
 - ◆食数の変更とキャンセルについて
 - 【弁当】
 - 入所の前日（土・日・祝日を除いて）の9：00まで変更可能です。
 - オールキャンセルの場合、2日前（土・日・祝日を除いて）の16：00までは無料で対応いたします。
 - 【弁当以外】
 - 変更・オールキャンセルとも入所の1週間前（土・日・祝日を除いて）の9：00までご連絡ください。
- ※期限以降は、不参加者が出ても、「活動計画書A」に記入されている食数分の料金全額をいただきます。また、オールキャンセルは全額をキャンセル料としていただきます。

食物アレルギーへの対応

- 可能な限り対応いたします。対応が難しい場合には、食事を持参していただくこともありますのでご了承ください。
- 正案提出時に「食物アレルギー連絡票」もあわせてご提出ください。

食堂の利用について

1 ご利用の前に

- ① 食堂厨房で調理する食事の提供は行っておりません。食堂は、弁当等を食べる食事場所としてご利用いただけます。
※場合によっては、研修室等、食堂以外の場所を食事場所として使用することがあります。
- ② 以下の時刻をめやすにご利用ください。
→ 朝 … 7:30～ 昼 … 12:00～ 夕 … 17:30～
- ③ 食事の前に石けんによる手洗い（消毒）をお願いします。消毒用アルコールは食堂入り口に用意していますのでご利用ください。

2 食堂に入ったら

- ① 団体毎に座席を割り当てますので、標示のある位置への誘導をお願いします。
※飛沫防止用のパネルを準備しています。必要な場合はお申し出ください。
- ② 食事（弁当等）を配る際は、密にならないようご指導ください。
- ③ 「いただきます」「ごちそうさま」は、団体毎におまかせします。
- ④ 容器の返却方法については、スタッフにご確認ください。

3 食堂を出る前に

- ① 後片付けの際は、密にならないようご指導ください。
- ② 使用後は可能な範囲で掃除をお願いします。

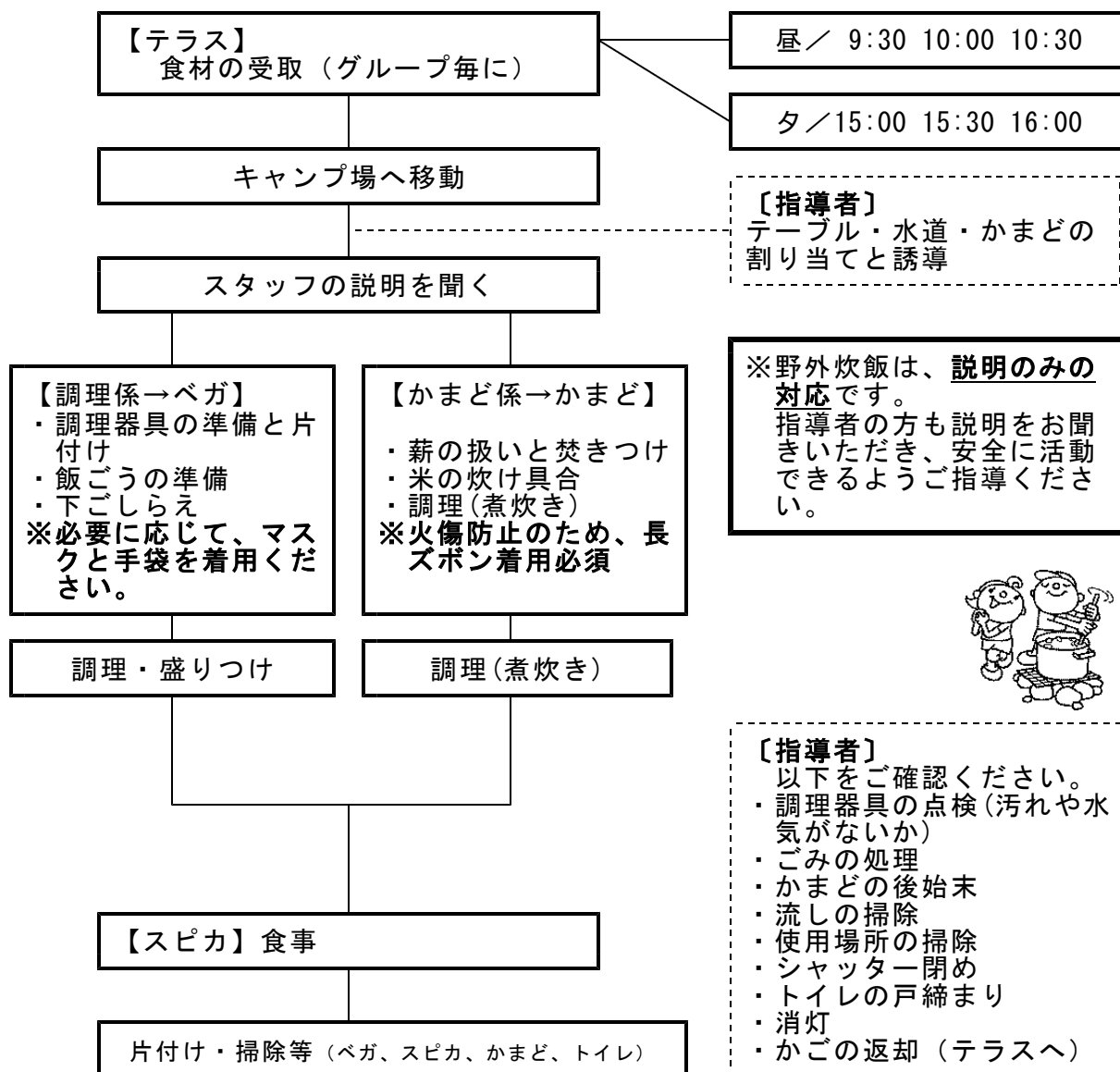
4 提供する食事について

提供する食事は以下の通りです。

内 容	詳 細
弁 当	・朝食、昼食、夕食で提供 ・食堂を食事場所として利用可能です。
防災体験食 （要相談）	・朝食で提供（昼食、夕食は不可） ・「テント泊」や「火起こし体験」と組み合わせて、防災教育として実施することができます。（食事場所として食堂利用可）
野外炊飯 （カレー）	・昼食、夕食で提供 ・必要であれば、個人用の食器（使い捨て等）をご準備ください。
手打ち うどん	・昼食で提供（食事場所として食堂利用可） ・個人用の食器（使い捨て等）をご持参ください。

野外炊飯について

【一般的な活動の流れ】



◆食器・調理器具について

- キャンプセンター「ベガ」にある調理器具・食器等を使用することができます。水洗いしてからご使用ください。また、後片付けの時間短縮・感染防止対策として、個人用の食器・スプーンをご持参いただいても構いません。
- 使用後は、次に使う人のために汚れを落とし、水気をしっかり拭き取って元の場所に返却してください。
(汚れを落とす → ふきんで拭く → ペーパータオルで仕上げ拭き → 指導者のチェック → 元の場所に返却)

◆食材の持込みについて

- 持込み食材は、安全や衛生に十分ご注意ください。食堂前ロビーに家庭用の冷蔵庫がありますので、食材の冷蔵にご利用ください。その他に冷蔵設備はありませんので、クーラーボックス等は各団体でご用意ください。

◆自然を汚さないように、洗剤は環境配慮洗剤を使うようお願いいたします。

◆暗くなってから移動する際は懐中電灯があると安心です。（日暮れの早い秋等）

施設の利用にかかる料金

1 施設使用料

区分	料金	備考
宿泊利用	820	2泊3日で利用する場合は、1,640円です。
日帰り利用	200	

- ※ 18歳以上の方が少年自然の家を使用する場合は、料金がかかります。
- ※ 学校等が教育課程内で利用する場合、引率教員の使用料は免除されます。
- ※ その他減免制度については、お問い合わせください。

2 食事に関する経費

(1) 弁当

メニュー	料金	備考
朝食	702	・配膳は各団体で行っていただきます。 ・朝食と夕食には味噌汁がつきます。 (昼食にはつきません)
	幼児用 648	
昼食	810	
	幼児用 756	
夕食	918	
	幼児用 864	

(2) 野外炊飯

メニュー	料金	備考
カレーライス (昼食、夕食)	530	飯ごう炊飯、ゼリー、緑茶 (紙パック) ※活動に必要な物品は、p5でご確認ください。

(3) その他

メニュー	料金	備考
手打ちうどん (昼食)	260	めんつゆ、バナナ、ゼリー ※中力粉で手打ちうどんを作って食べます。 活動に必要な物品は、p6でご確認ください。
防災体験食 (朝食) ※防災教育として	330	パン (真空パック)、オレンジジュース、バナナ、ゼリー
ペットボトル飲料 (500mL)	180	スポーツドリンク
ペットボトル飲料 (650mL)	175	緑茶
ペットボトル飲料 (650mL)	155	麦茶
緑茶 (200mL)	135	紙パック
りんごジュース (200mL)	165	紙パック
オレンジジュース (200mL)	175	紙パック

- ※ 今後の物価変動によっては、料金を改定 (値上げ) する場合があります。
- ※ 食事メニューの数量変更には期限があります。(p9参照)
- ※ 手打ちうどん体験は、一人当たりの料金のほかに、麺を茹でるためのプロパンガスの料金 (30人ごとに300円) が必要です。

3 シーツクリーニング料金

項目	単価	備考
ベッド用シーツ	211	シーツ2枚、まくらカバー1枚
シュラフ用シーツ	176	封筒型シーツ1枚

※ 出血や嘔吐等により寝具を汚した場合は、実費クリーニング料を負担いただきます。

※ 今後の物価変動によっては、料金を改定（値上げ）する場合があります。

4 体験活動材料

活動名	材料名	単価	備考
ナイトハイク	ろうそく	20	提灯1つに対して1本
	マッチ	30	
キャンプファイヤー	井桁	4,500	6段組（トーチ用の灯油を含んだ料金です。）
	井桁	6,500	8段組（トーチ用の灯油を含んだ料金です。）
	トーチ棒（針金付き）	70	トーチの布は団体で用意してください。
ボンファイヤー	薪（雑材）	600	
キャンドルサービス	中央燭台用ろうそく	750	
	個人用ろうそく	10	
創作活動	自然素材工作	100	
	竹細工	50	
	ラミネートしおり	60	
	エイ風	100	
陶芸	粘土・釉薬	300	
	焼成灯油	4,000	素焼き・本焼きの2回、40人までに対応。 （40人を超える団体は、ご相談ください。）
野外炊飯	薪（雑材）	300	かまど1箇所あたり1束使用
	洗剤	430	500ml 環境配慮洗剤
	ペーパータオル	200	2ロール入り
	炭	800	バーベキューコンロ1台分（約5kg）
	カセットコンロ用ガス	150	
うどん打ち	プロパンガス	300	うどん茹で上げ用、30人までに対応。 （30人を超える団体は、ご相談ください。）

※ ナイトハイク用ろうそくや野外炊飯の薪などは、団体で用意いただくことも可能です。

5 外部講師謝礼

活動名		単価	備考
天体観察	講師1名につき	5,500	実施人数等により必要な講師数が変わります。

活動プログラム一覧

【活動計画を作成の際、ご活用ください】

「スタッフの関わり」

A:スタッフが説明し、活動終了まで対応するプログラム
B:スタッフが説明し、その後は団体のみで活動するプログラム ※必要な道具等の準備はさせていただきます。
C:任意で実施可能なプログラム ※必要な道具等については事前にご相談ください。
D:外部講師が対応するプログラム

☆「スタッフの関わり」について、ご要望等ありましたらご相談ください。また、複数の団体が利用する際は事前に打合せ等で活動を調整する必要があります。

☆(SS)・・・セカンドスクールの利用に関わる活動です。 ☆(防)・・・防災教育に関連させて利用できる活動です。

●野山で

活 動 名	活 動 場 所	時 間	スタッフの関わり	備 考
登山	保呂羽山(標高438m) 登山コース(約6km)	約2.5時間	A	昼食・休憩時間を除いた時間です。
ハイキング	ほろわんぱーく周辺 ・リすコース(1.5km) ・うぐいすコース(2.0km)	約30分 約45分	B	通過確認地点を設け、その場所に指導者を配置する必要があります。(配置場所や人数についてはスタッフにご確認ください。)
追跡ハイキング	ほろわんぱーく周辺(2.8km)	1.5時間	B	グループ数が多くなると、その分時間がかかります。計画を立てる際にご配慮ください。
マツブリーディング	ほろわんぱーく周辺(3.5km)	2.0時間	B	

●キャンピング

活 動 名	活 動 場 所	時 間	スタッフの関わり	備 考
テント泊 (一人用テントのみ) (防) ※設営・撤収の体験のみも可能です。	キャンプ場他 ・設営 ・撤収	2.0時間 1.0時間	B	一人用テント(70張)が使用できます。(テント1張につき、1名～2名利用できます)

●つくって食べる

活 動 名	活 動 場 所	時 間	スタッフの関わり	備 考
野外炊飯(SS) (防)	キャンプ場	3.0時間～	A	p5～7、p11～13をご参照ください。
手打ちうどん(SS)	研修室他	4.0時間	A	p6、p12～13をご参照ください。

●ふしぎ探検

活 動 名	活 動 場 所	時 間	スタッフの関わり	備 考
化石観察・採取(SS)	旧スキー場手前(徒歩15分)	1.5時間～	B	各自、持ち帰り用の袋をご持参ください。
バードウォッチング	ほろわんぱーく周辺	任意	C	図鑑等を貸し出すことができます。
植物観察(SS)	ほろわんぱーく周辺	任意	C	
昆虫観察(SS)	ほろわんぱーく周辺	任意	C	
火おこし(SS) (防)	テラス 他	1.5時間～	A	

●星空の下で

活 動 名	活 動 場 所	時 間	スタッフの関わり	備 考
キャンプファイヤー	キャンプ場営火場 集いの広場営火場	1.5時間～	B	p6「自然の家で借用できる物品(キャンプファイヤー関連)」をご参照ください。
ボンファイヤー	キャンプ場営火場 集いの広場営火場	1.5時間～	B	
キャンドルサービス	レクリエーションホール 研修室	1.5時間～	B	
ナイトハイク	リすコース うぐいすコース	30分～ 45分～	B	p5「夜の活動に必要」をご参照下さい。
天体観察(SS)	ほろわんぱーく周辺	1.0時間～	D	p5「夜の活動に必要」、p13「講師謝金」欄をご参照ください。

●森の芸術家(創作活動) ※諸経費等については、p17をご参照ください。

活 動 名	活 動 場 所	時 間	スタッフの関わり	備 考
自然素材工作(SS)	レクリエーションホール他	1.0時間～	A	幼児～ ※どなたでも楽しむことができます。 ※団体で持ち帰り用の段ボール箱等をご準備ください。
しおり(ラミネート)		1.0時間～		
エイ風づくり		1.0時間		
陶芸・成形(SS)	研修室他	2.0時間	A	小学校高学年～ ※難度が高めな活動です。 ※「陶芸・色つけ」のみの活動はできません。 「陶芸・成形」した自分の作品に色をつける活動です。 ※団体で持ち帰り用の段ボール箱等をご準備ください。
陶芸・色つけ(SS)	研修室他 ※成形から約3週間で以降	1.0時間		
竹細工 ハシ	レクリエーションホール他	1.0時間	A	
〃 竹笛		1.5時間～		
〃 竹とんぼ		2.0時間～		

●スポーツ・レクリエーション

活 動 名	活 動 場 所	時 間	スタッフの関わり	備 考
カヌー	六沢堤(徒歩で40分前後)	3.0時間	A	p6「カヌー活動に必要な」欄をご参照ください。
グラウンドゴルフ	集いの広場他	1.0時間～	B	用具や活動場所については、スタッフにご相談ください。
バドミントン	レクリエーションホール他	1.0時間～	C	
スマイルボーリング		1.0時間～	B	
モルック		1.0時間～	A	
フリースボールポッチャ		1.0時間～	A	

●仲間づくりのために

活 動 名	活 動 場 所	時 間	スタッフの関わり	備 考
あきたアドベンチャー プログラム 略称:AAP(SS)	ほろわんぱく周辺 レクリエーションホール 他	2.0時間～	A	楽しんで活動しながら、人と関わる力を高めるプログラムです。内容・時間についてはご相談ください。

●自然の家を拠点に

活 動 名	活 動 場 所	時 間	スタッフの関わり	備 考
ほろわ歴史探訪 ・史跡めぐり	大森町八沢木、前田地区一帯	3.0時間～	C	バス利用についてはご相談ください。
教育関連施設との連携 ・南部シルバーエリア ・県立近代美術館 ・県立農業科学館 ・県立埋蔵文化財センター		任意	C	

●出前講座で(通年)

活 動 名	活 動 場 所	時 間	スタッフの関わり	備 考
あきたアドベンチャープログラム 防災プログラム支援(防) 陶 芸 手打ちうどん 森の芸術家(創作活動) 利用の事前・事後サポート	各学校・地域施設等	要相談	A	利用者の少ない時期に、ほろわんぱくのスタッフが向いて活動のお手伝いをします。 電話でお問い合わせの上、出前講座の申請書をお出ください。 ※陶芸は、冬期間は対応できません。

●出前講座で(冬季のみ)

活 動 名	活 動 場 所	時 間	スタッフの関わり	備 考
かんじきハイキング エアーボード	各学校・地域施設等	要相談	B	手続きは、通年の出前講座と同様です。

秋田県立保呂羽山少年自然の家（愛称：ほろわんぱく）

利 用 申 込 書

令和 年 月 日

下記のように保呂羽山少年自然の家の利用を申し込みます。

団体名 _____

代表者 職・氏名 _____

(利用学年等 _____)

1. 学習や活動のねらい				
2. 予定している活動や学習 (☑で示して下さい)	☐ 野外炊飯 ☐ ハイキング ☐ 自然素材工作 ☐ カヌー体験 ☐ うどん打ち ☐ 天体観察 ☐ あきたアドベンチャープログラム ☐ 化石堀り ☐ テント泊 ☐ その他 ()			
3. 連絡担当者 ※活動全般を把握している、企画・実施の中心者				
4. 連絡先	〒 _____ 住所 ----- TEL () - FAX () - ----- E-mail @			
5. 到着・出発の時刻	到着 令和 年 月 日 () 時 分ころ 出発 令和 年 月 日 () 時 分ころ			
6. 利用人数 ※「児童・生徒」には「幼児」も含む。 ※「引率者・保護者」は、利用する大人の人数を記入。		男	女	合 計
	児童・生徒	人	人	人
	引率者・保護者	人	人	人
	合 計	人	人	人
7. 同意事項 ※利用団体が学校(園)の場合は、記入不要です。	☐ 裏面【同意事項】に同意します。 (チェックがない場合は、使用を許可できません。)			

*本利用申込書の他に、活動計画書を記入の上、後日提出していただくよう、よろしくお願いします。

秋田県立保呂羽山少年自然の家 TEL (0182)26-6011 FAX (0182)26-6012

秋田県横手市大森町八沢木字大木屋73

(裏面)

同 意 事 項

- 1 次の活動を目的とした利用はできません。
 - ①特定の政党を支持、又はそれに反対するための政治教育その他政治的活動
 - ②特定の宗教を支持、又はそれに反対するための宗教教育その他宗教的活動
(団体が所内及び所を利用しながら他の利用者や地域で勧誘活動をしたり、
自らの団体の活動をアピールする活動等)
 - ③専ら営利を目的とした活動のための利用
(団体が所内や所を利用しながら物品等の販売や説明会を行う活動等)
- 2 活動内容の確認のため職員が巡回することを承諾します。
- 3 許可を受けた後に①～③の活動と認められた場合、許可を取り消されても異議はありません。
また、許可を取り消された場合の使用料の返還は求めません。

必ずご提出いただく書類（ご利用の3日前までに）
使用料減免対象の場合は「使用料減免申請書」もあわせてご提出ください。

秋田県立少年自然の家利用申請書

（あて先）
秋田県立保呂羽山少年自然の家所長

次のとおり秋田県立少年自然の家を利用したいので申請します。

令和 年 月 日

団 体 名	
代 表 者	
電 話 番 号	
利用年月日	令和 年 月 日（ ）～ 令和 年 月 日（ ）
利 用 人 数	人（うち18歳以上[高校生又は準ずる者を除く] 人）

※ 申請の利用人数に基づいて、18歳以上（高校生又は準ずる者を除く）の方から使用料を徴収します。施設使用料の減免を希望する場合は、減免申請書を添付してください。

秋田県立少年自然の家利用許可書

秋田県立少年自然の家の利用について、「秋田県立少年自然の家条例」第4条の規程に基づき、次のとおり許可します。

団 体 名	
利用年月日	令和 年 月 日（ ）～ 令和 年 月 日（ ）
利 用 人 数	人（うち18歳以上[高校生又は準ずる者を除く] 人）

令和 年 月 日

秋田県立保呂羽山少年自然の家所長 印

秋田県立少年自然の家 使用料減免申請書

(あて先)

秋田県立保呂羽山少年自然の家所長

次のとおり使用料の全部(一部)を免除されるよう申請します。

令和 年 月 日

団 体 名	
代 表 者	職名 氏名
使用年月日	() ~ ()
理 由 (いずれかにチェック)	全額免除 ☐ 学校等が、教育課程又は保育計画に基づく活動で使用するため ☐ 県又は県教育委員会等が主催する研修講座で使用するため ☐ その他、特別な理由があるため ()
	半額免除 ☐ 学校等が教育課程外又は保育計画外の活動で使用するため ☐ 社会教育関係団体等(主な構成員が子どもである団体等)の活動で使用するため ☐ 身体障害者手帳、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳を所持しているため(スマートフォンのアプリ等での提示・確認も可)

※申請の際、「秋田県立少年自然の家利用許可書」を添付してください。

秋田県立少年自然の家 使用料減免承認書

秋田県立少年自然の家の使用料減免について、「秋田県立少年自然の家条例」第7条の規定に基づき、次のとおり許可します。

団 体 名	
使用年月日	令和 年 月 日 () ~ 令和 年 月 日 ()
対象人数	使用料徴収対象 _____ 人 うち(全額・半額)免除 _____ 人

令和 年 月 日

秋田県立保呂羽山少年自然の家所長 印